

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後デイサービス 第2アミスター			公表日	令和 8年 3月 17日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動の内容や子どもたちの状態によって部屋を分けて使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		死角をつくらないよう職員を配置し、安全に努めています。また、子どもの状態によって個別対応できる人数配置にしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動内容で場所を区切り、集中して取り組める環境構成にしています。子どもたちが認識しやすいように視覚的に分かりやすくし、バリアフリー化を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもが片付けやすい環境を整え、子どもたちが触れるところは常に清潔に保てるよう、感染症予防に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		活動や子どもたちの状態によって部屋を使い分けられるように環境設定をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルのステップを繰り返すことで、継続的な業務の改善を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に保護者との面談や情報交換をする集まりを開催し、職員間で情報共有し業務改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の職員ミーティングで話し合い、PDCAサイクルを活用し取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現段階では、第三者による外部評価を行うことができていません。今後、外部評価の機会を設け業務改善に繋げていきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に職員研修や外部講師を招いた研修を実施し、モチベーションや資質向上を図っています。また、レクリエーション等活動に取り入れられる研修も積極的に受けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員が目指す姿と実際の子どもたちの姿を照らし合わせながら5領域に基づき、支援プログラムを作成して公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		定期的にアセスメントを取り、個別支援計画書の作成を行っています。また、必要に応じて支援計画書の見直し等を行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画書作成の際には、その子どもに関わる全ての職員で支援計画の内容を検討し、作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		作成した支援計画書を個別のファイルに入れ、場所を明確にし支援に関わる全ての職員が閲覧でき、支援に繋がっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々子どもたちの発達支援の様子などをと定期的にアセスメントを行い、アセスメントシートに結果を記載してそれぞれが結果を確認できるようになっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		事業所で必要な支援内容や項目が記載されているフォーマットを使用することで適切に支援内容を設定しています。支援計画書は、支援にかかわるスタッフで内容を十分に検討し、本人に寄り添った支援を設定するよう努めています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームで話し合い、活動内容の立案や検証等を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		月ごとにテーマを設定し、PDCAサイクルの手法を利用し、発達支援が固定化しないように取り組んでいます。また、個別支援を取り入れることで個々の特性に応じたプログラムも行っていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		本人の特性などを考慮し、個別支援、集団活動を含め本人に適宜した支援計画を作成しています。作成した内容をもとに支援を行い、適宜見直ししながら取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援に入る前に各事業所で打ち合わせを行い、当日のスケジュールが円滑に進むようにチームで連携しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後にはその日の発達支援の様子と改善についての話し合い、情報共有を行い良い支援に繋がっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の発達支援の様子を記載することができています。日々の支援内容を個々で残し、その様子を職員間で共有し、検証することで必要に応じて改善策の検討に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングをおこない、計画書の作成、変更をおこなうことで成長に応じた内容で支援を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		地域イベントに積極的に参加し事業所外交流を図っています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分の意見を表明し、主体的に遊びや活動を行い、様々な場面で自己選択の機会が確保されています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者に加え、日々の発達支援を主に担当しているスタッフが同席することで情報共有を密に行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携をとれるように働きかけながら体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		行事予定、下校時間の確認等、送迎時に子どもの様子を共有することで学校との連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		他事業所から利用を開始する際には、その事業所との連絡を取り、情報共有の機会を設けています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		サービスを移行する際には、相談支援事業所と連携を図りながら移行先の事業所へ支援内容等の情報提供をおこなっています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		定期的に助言や研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内には放課後児童クラブが2事業所あるため、イベントの合同開催など、定期的な交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		協議会の研修等に積極的に参加し、情報共有や研鑽に努めています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡用ツールを利用し日々の生活の様子を保護者様に報告しています。課題がある時には、都度、保護者と面談し話し合っています。必要に応じて電話、自宅への訪問を行うことで共通理解を持てるように取り組んでいます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者参加型のイベントなどを開くことで情報提供の機会を設けてはいるが、研修という形ではないため、今後は開催を検討していきます。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に保護者様に直接説明する機会を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に保護者と面談の機会を設けています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画書の内容と一緒に確認しながら分かりやすく支援の内容を伝え、同意を得たうえで支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの声を大切にし、必要に応じて面談や助言をできる機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		事業所で保護者に生活の様子の共有や親子レクリエーションなどを行う機会を定期的に開催しています。その際にきょうだいも一緒に参加しています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所で苦情担当の窓口を設けることで苦情の際には迅速に対応できる体制を整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		組織のHPを利用して事業所の月ごとの活動計画や全体の行事などを公開し、保護者様に向けた情報の発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いには十分留意して取り組んでいます。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもとのかかわり方や保護者への対応など、マニュアルの作成、研修などへの参加を通し意識向上に努めています。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域のイベントに参加したり、イベントの自主開催を行っています。		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		月に一回以上災害を想定した避難訓練・防犯訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定し、定期的に確認し、必要な訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入所時に子どものアレルギーやてんかん等について確認し、個人シートにも保護者による旨を記入してもらっています。また、アレルギー等を一覧表にし、すべての職員が周知できるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		入所時にアレルギーやてんかん等の有無や対応等を確認しています。職員が確認しやすいように一覧表にしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画の作成し日々、職員間で連携を取りながら安全に努めています。また、定期的な見直しを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に直接保護者にお伝えしています。変更については、都度お伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの報告を全体ミーティングで共有することで対策を全体で考え、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止等の研修を定期的に行い、適切な対応を取れるようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		事前に保護者に説明し、了承を得た上で支援計画書に記載しています。		